



放射線治療室

がんには体の外から放射線をあてる治療を行っています

< 治療担当医療者の役割 >

医師

診察検査結果をもとに、放射線治療の方針を決定します。治療期間中は定期的な診察と、治療の副作用に対して必要な処置を行います。必要に応じて他の科の医師とも相談のうえ最適な治療を行います。

診療放射線技師

毎日の照射治療を行う大切な役目を担っています。治療方針に従って、治療する部位の皮膚に印をつけ、病気の部分だけに確実に放射線を照射します。治療の正確な記録も作成し、安全に治療が行えるように治療装置の日々の点検・保守も こなっています。

看護師

治療期間を通して、患者さん・ご家族と一緒に、治療が無事に、安全に、大きな副作用なく終了できるようお手伝いさせていただきます。副作用以外の色々な問題や悩みに関しても、患者さんの味方となりサポートさせていただきます。なんでもご相談ください。

多職種が集まってチームで治療に関わらせていただきます。

